

MVN 2019.2 リリースノート

| | |
|---------|--|
| 新バージョン | ■MVN 2019.2 ■Link Firmware: BodyPACK v1.2.0, MTx2 v1.2.0 ■Awinda Firmware: AW-A2 v4.4.0, AW-DNG2 v4.4.0, MTw2 v4.4.0 ■FirmWare Updater: 4.2.6 |
| 旧バージョン | ■MVN 2019.1 (2019/3) Beta Version ■Link Firmware: BP FW 1.1.9, MTx2 FW 1.1.9 ■Awinda Firmware: AW-A2 v4.3.5, AW-DNG2 v4.3.5, MTw2 v4.3.5 ■FirmWare Updater: 4.2.6 |
| リリース日 | 2019/8 |
| アイコンの意味 | [+]追加機能、[^]変更機能、[!]注意点、[#]修正点、[-]削除機能 |

1. イントロダクション

このリリースノートには、新しい MVN Analyze / Animate バージョン 2019.2 の詳細が含まれています。この最新のリリースには、新機能や改善点、最新のバグ修正に関するアップデートが含まれています。

注：MVN 2019 より前のバージョンを使用している場合は、新しい機能と安定性の更新を活用するために、MVN Link/Awinda システムでファームウェアを更新する必要があります。Firmware Updater 4.2.6 (FWU) をダウンロードしてください。

2. メジャーアップデート及び新機能

2.1 MVN

- + GNSS サポート (要専用アンテナ、Link 専用)
- + GNSS 精度グラフ機能 (要専用アンテナ、Link 専用)
- + リモート OBR で複数のボディパック(BP)をリモートでトリガーすることができます (Link 専用)
- + リモート OBR で収録開始・終了のディレイを設定できます (Link 専用)
- + タイムスタンプ付きのライブデータを BP から使用できるようになりました (Link 専用)
- + Excel ファイル出力機能追加
- + 車両 (Vehicle) シナリオ追加
- + Surface Pro など、タッチスクリーン操作で容易な大きなレコードボタン (サイズ変更可能)
- + ビューポートの背景色をカスタマイズできるようになりました (Chroma の「グリーンスクリーン」用)
- + T8_UpperArm 関節角度に XZY 角度が追加されました
- + 垂直に対する体幹セグメント角度が与えられました
- + MVN GUI にマーカーリストが追加されました
- + 未使用のセグメント (上半身、下半身モードなど) をビューポートから隠すことができるようになりました

2.2 SDK

- + SDK で人間工学に基づいた関節角度が利用可能になりました

2.3 ファームウェア

MVN の最新機能の活用と安定性の更新のため、ファームウェアを更新する必要があります。

3. バグ修正

3.1. MVN

- # OBR モードをオン・オフの際の BP 検出バグが修正されました
- # フィンガーデータの有無にかかわらず、クォータニオンデータを同じホストにストリーミングしなくなりました
- # ネットワークストリーマーの Unroll ボックスがチェックされている場合、ロールされたオイラーデータは送信されなくなりました
- # 記録開始ボタンがタイムコード時間を使用します
- # 電源オフ中のスーツの状態でプロップを有効にしたときに Suit Configuration 設定がフリーズしなくなりました
- # SDK 使用時に Link システムからのライブデータが表示されるようになりました
- # パッファがいっぱいになり、記録が終了した後に Link システムが再び表示されます
- # Awinda で範囲外の時間が長い時の記録される時間が早くなりました
- # ネットワークストリーマーが間違ったセグメント ID を使用しなくなりました
- # Reprocess の際、位置と向きが正しくリセットされます
- # “Calibrate from Selection” をキャンセルした後、ファイル中の現在のキャリブレーションは消えます

- # N-Pose + Walk を使った上半身キャリブレーションで、結果が Good にも関わらず表示されるエラーが表示されなくなりました
- # T-Pose + walk キャリブレーションはで、結果が Good にも関わらず、表示される Poor 結果を表示しなくなりました
- # グローブが設定されていてもまだ見つからない場合、グローブなしではキャリブレーションや記録はできません
- # ハードウェアステータで Manus Apollo を閉じるとグローブが外れていることが表示されます
- # OBR 寸法情報ウィンドウで以前のデータのロード (Load previous data) が機能するようになりました
- # ツールバーを閉じると全画面モードから抜けられるようになりました
- # 修正ファイルのアスタリスクがタイトルバーに表示されるようになりました
- # OBR インポートを中止しても mvn ファイルが残される+次の上書きでのインポートで MVN がクラッシュしなくなりました
- # HD Reprocess 機能がいないシナリオでは HD Reprocess 処理されましたとマークされなくなりました。
- # mvnx ファイルのコンタクトデータエクスポートが、厚手の靴底でも壊れなくなりました
- # リンクセグメントモデルで重複したポイント定義が発生しなくなりました
- # 一括エクスポートの際、マーカーデータが.MVNX 形式にエクスポートされます。

4. マイナーアップデート

4.1 MVN

- + LTC の同期時間を MVN から BP に与えることができます (Link 専用)
- + セッション名に特殊文字を使用して MVN Remote アプリから録画した後、リカバリファイル (.mvr) が削除されるようになりました
- + タイムコードはタイムライン上のツールチップとして表示することができます
- + 処理品質プロパティが mvnx に追加されました
- + 異なるアクターの OBR 記録を一度にインポートすることが可能 (Link 専用)
- + ウォークキャリブレーションフィードバックの改善
- + グローブ LED とテキストがグローブアイコンに変わりました
- + 'モーションパス'ボタンはライブセッション中に無効にすることができます
- + エクストラ靴底の厚さはかかとに垂直方向に足先セグメントを変えないようになりました
- + プログレスバーが貯めて急に更新されなくなりました
- + アンロールされたオライナーデータはネットワークストリーマを介して送信することができます

5. 確認されている問題点

- ! 最初の向きが南を指す場合、MVN GNSS の初期化が正しくない